

日本リハビリテーション医学会における 女性医師の活動と支援

平成27年度「大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会」
公益社団法人日本リハビリテーション医学会理事長 水間正澄

(日本医師会館：2015.12.18)

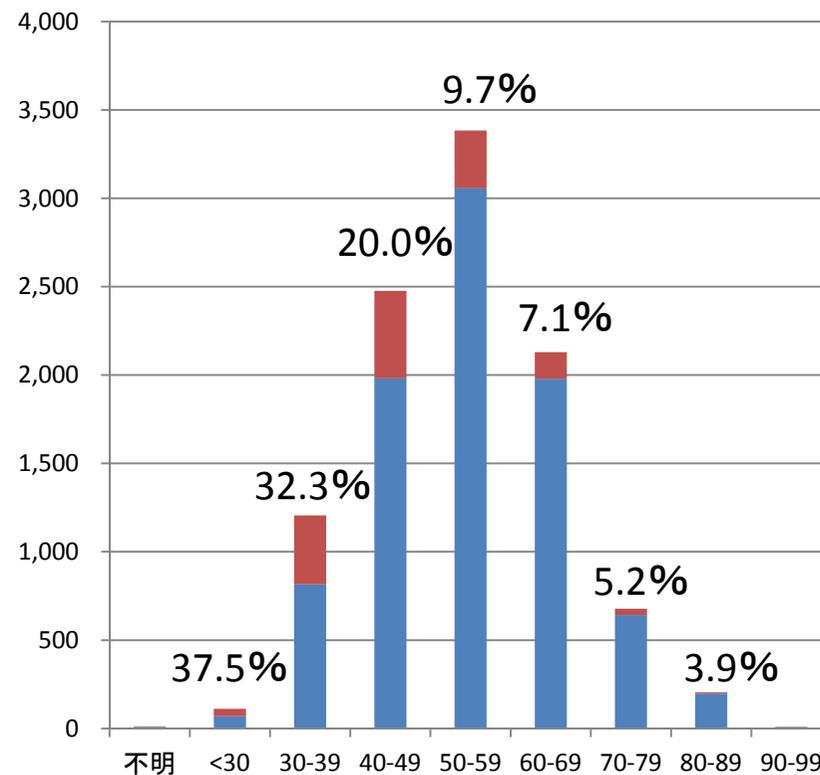
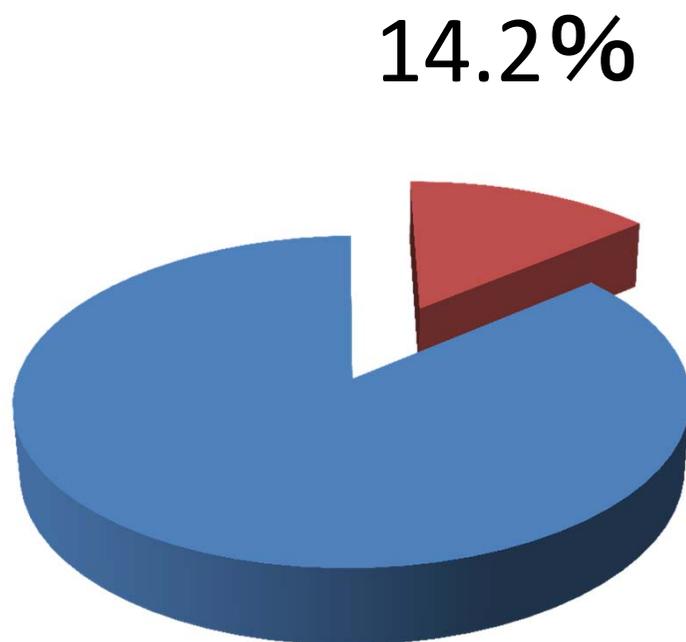
リハビリテーション医学会創設以降の歴史

- 1963年（昭和38年） 日本リハビリテーション医学会創設
- 1965年（昭和40年） 医療法改正「理学診療科」、理学療法士・作業療法士法制定
- 1968年（昭和43年） 日本医学会加盟（第56分科会）
- 1974年（昭和49年） わが国初のリハビリテーション医学講座開講（獨協医科大学）
- 1980年（昭和55年） 日本リハビリテーション医学会専門医制度
- 1989年（平成 元年） 「日本リハビリテーション医学会」社団法人化
- 1996年（平成 8年） 医療法一部改正「リハビリテーション科」が標榜科に
- 2001年（平成13年） 科研費「リハ科・福祉工学」新設
- 2002年（平成14年） 専認構が「リハビリテーション科」を
- 2010年（平成10年） 初の理事**
- 2013年（平成25年） 学会設立50周年
- ⋮
- 2018年（平成30年） 初の学術集会会長**



浅見豊子教授（佐賀大学）

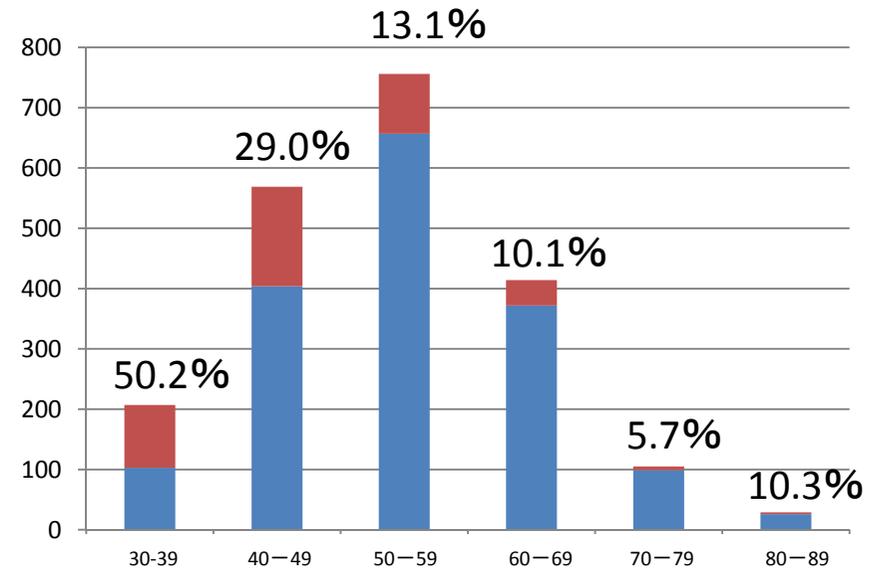
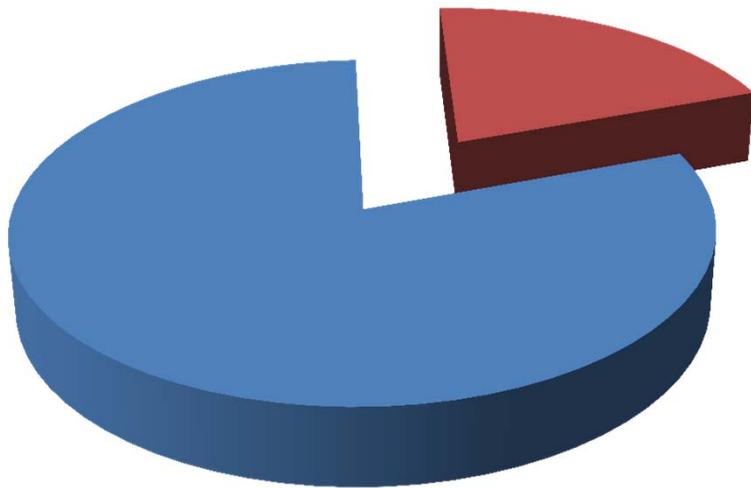
医師会員に占める割合 (2015.11.30)



正会員：1,0194 (医師 9,955)

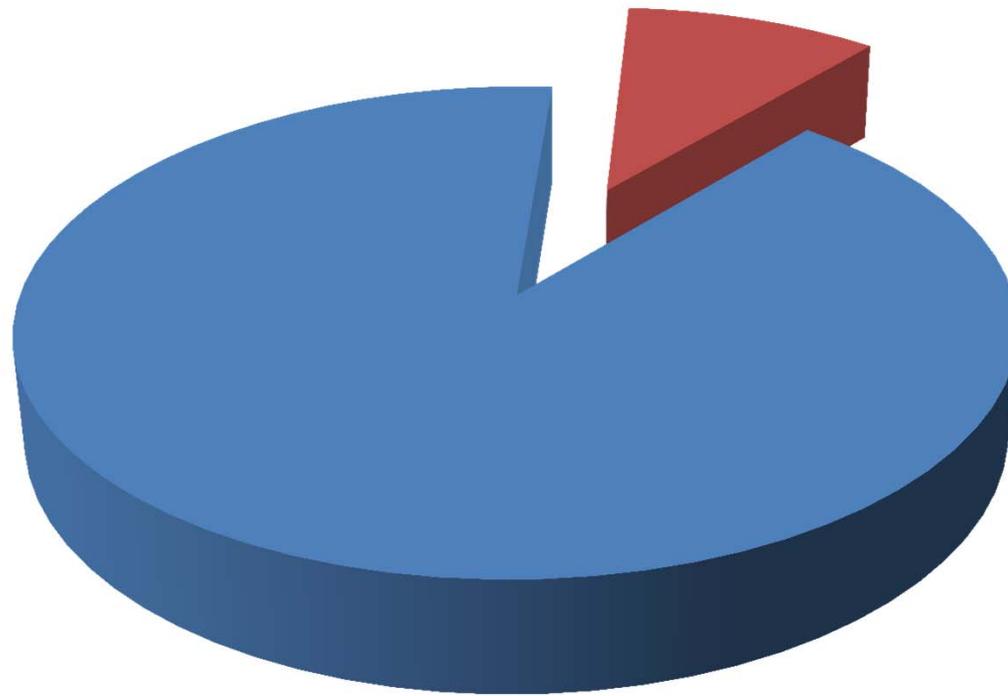
専門医に占める割合

20.1%



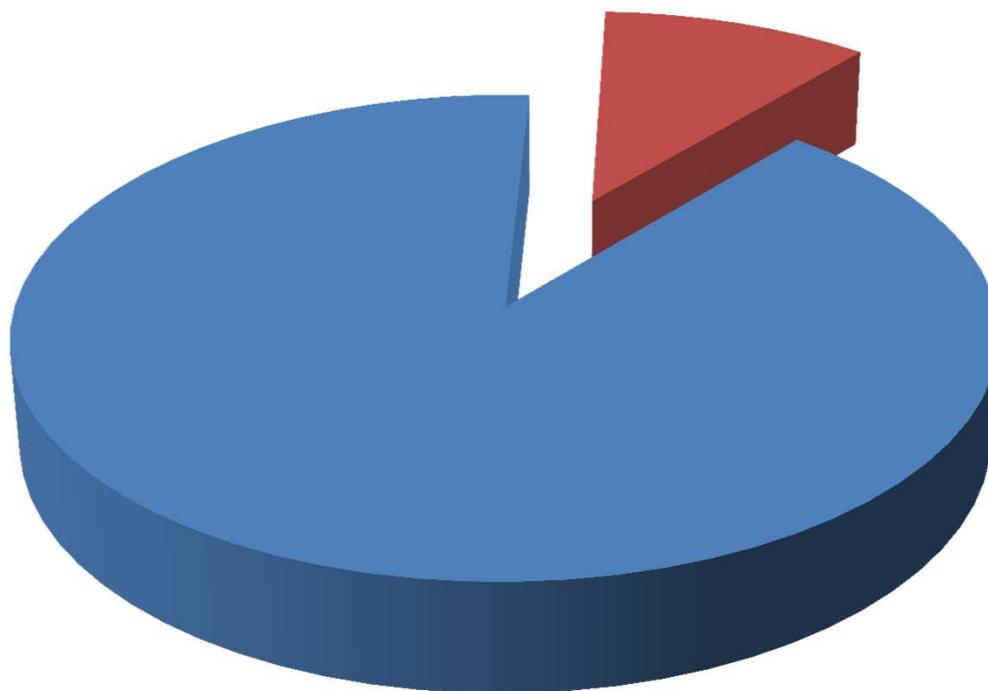
代議員に占める割合

10.2% (2011年は8.5%)



常設委員会委員に占める割合

11.6%



リハビリテーション医学の特徴と 女性医師

リハビリテーション医学とは

心身機能障害



活動制限（日常生活上での支障）



参加制約

チームで取組む

生活（活動）を支える医学

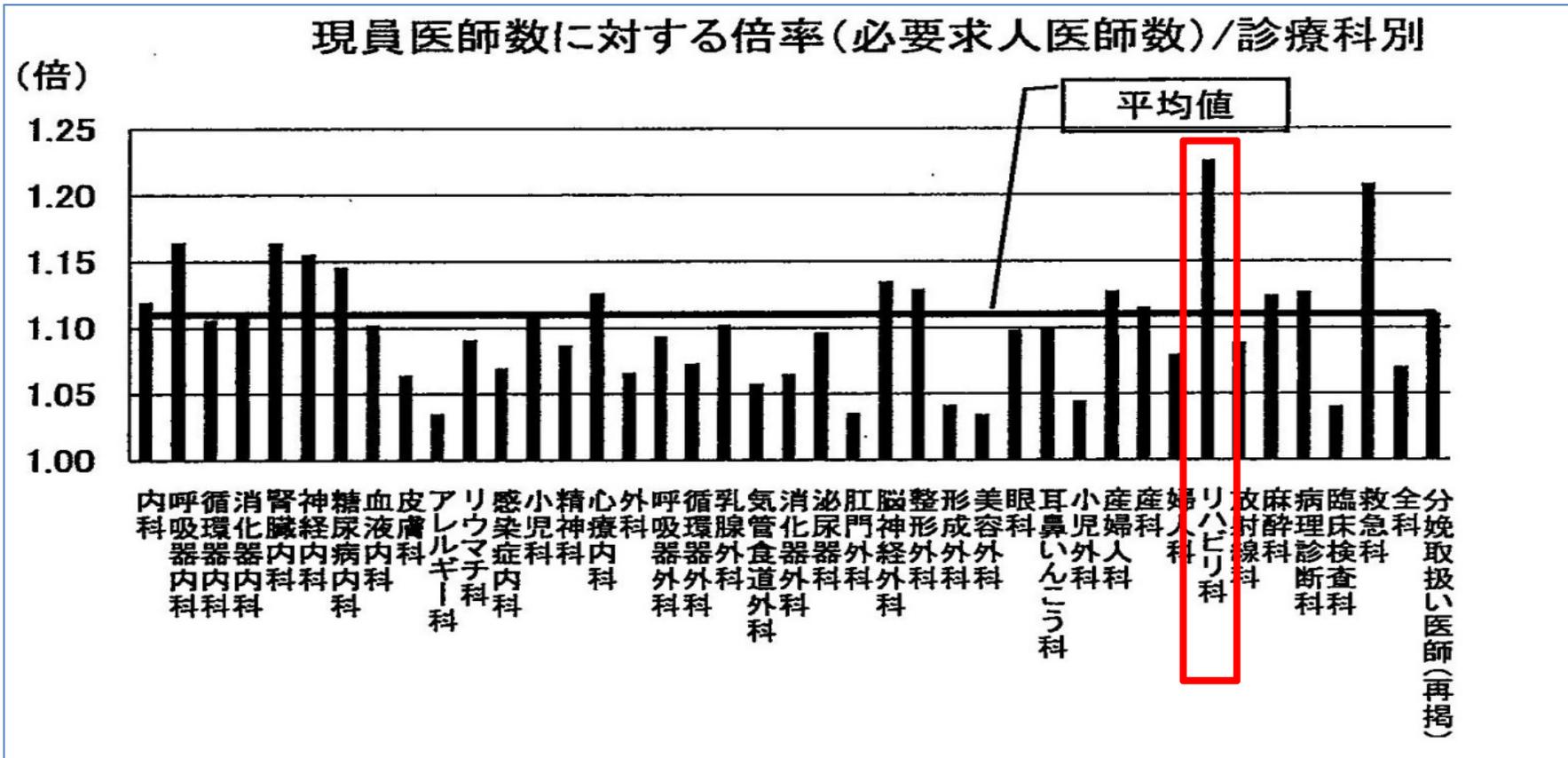
女性医師へのリハビリテーション科のアピール点

1. 能力における男女差はない。
2. 体力における男女差はでにくい。
3. ADL や小児医療、介護、コミュニケーション能力など、より能力を
発揮しやすい。
4. チーム医療の特徴をいかせば、オン・オフがはっきりし、予定の立つ
勤務体制がとれるため、片手間ではなくチームの一員としての役割が
十分に果たせ、生活設計も立てやすい。
5. 急性期リハ、回復期リハ、地域リハ、教育・研究行政機関など職場に
多様性がある。

ワーク・ライフ・バランスの視点からも不利は生じにくい診療科

(浅見豊子先生提供資料から)

不足しているリハ科医師



病院等における必要医師数実態調査 (2010年9月 厚生労働省)

急性期中心の病棟から回復期（リハビリや在宅復帰に向けた医療）の病棟への転換を進める必要。

「地域医療構想」の実現に向けた今後の対応について (2015年6月 厚生労働省)

日本リハビリテーション医学会
における女性医師の取り組み

リハビリテーション科女性専門医ネットワーク（RJN）

Rehabilitation Joy Network for Women Psychiatrists

- 2009年6月専門医会の一組織として発足し、2013年からはRJN委員会となりRJN活動の企画・運営を行う。
- RJN活動
 - 日本リハ医学会に所属する女性医師、リハ科に興味を持つ女性医師や女子学生であればとくに入会手続きなくRJNのメンバーとして自由に活動に参加できる。
- 主な活動内容
 - 医学生・研修医等をサポートするための会（年1回）
 - リハ科教授等への若手医師によるインタビュー（年3回）
 - 「リハビリテーション科専門医 達人の流儀」冊子として発行
 - RJN懇親会（年2回程度）
 - リハ科に興味をもっている女性医師や女子学生のリハ医療やリハ教育への関心を高め、相互の親睦や連携を深めている。

RJN（リハビリテーション科女性医師ネットワーク）企画セミナー

医学生、研修医等をサポートするための会

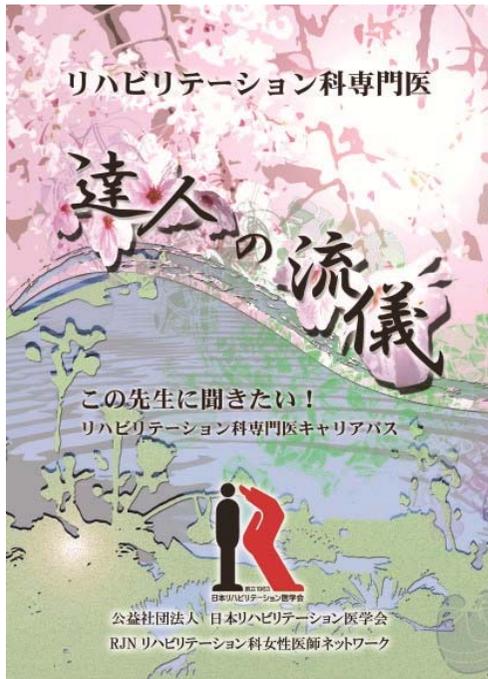
- 医学生、研修医等に向けてリハ科専門医について紹介するセミナー
- 日本医師会との共催で2009年第4回リハ科専門医会学術集会時から、毎年学会と同時開催
- セミナーでは地域で活躍するリハ科専門医の先生に、仕事を通じてのリハ医学・医療の幅広さ、奥深さ、その魅力を紹介していただく
- 堅苦しいものではなく、軽食を食べながらのリラックスしたもの
- 毎回医学生・研修医のみならず、若い世代を指導する医師も参加し、セミナー後にも会場では参加者同士の新しい交流が生まれている
- アンケートからは、「学生にも分かりやすい内容だった」「女性医師がたくさんいて驚いた」「リハの多様性を学べた」などの感想があり
- セミナー参加者から、後にリハ科専門医になった医師もあり

* 今後も企画を通じベテランと若い世代、全国各地のリハ医同士の交流をサポートしていきたい



（浅見豊子先生提供資料から）

リハ科教授等への若手医師によるインタビュー



「達人の流儀」第1集

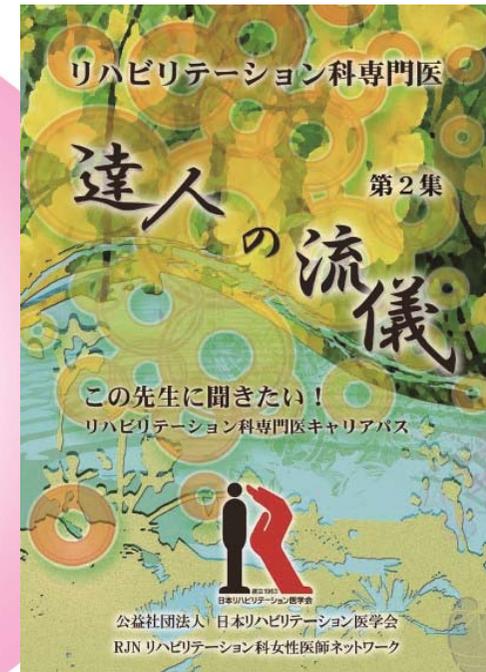
インタビュー企画冊子

リハビリテーション科専門医

「達人の流儀」

この先生に聞きたい！

リハビリテーション科専門医
キャリアパス



「達人の流儀」第2集

(浅見豊子先生提供資料から)

公益社団法人日本リハビリテーション医学会 ホームページ

<http://www.jarm.or.jp>

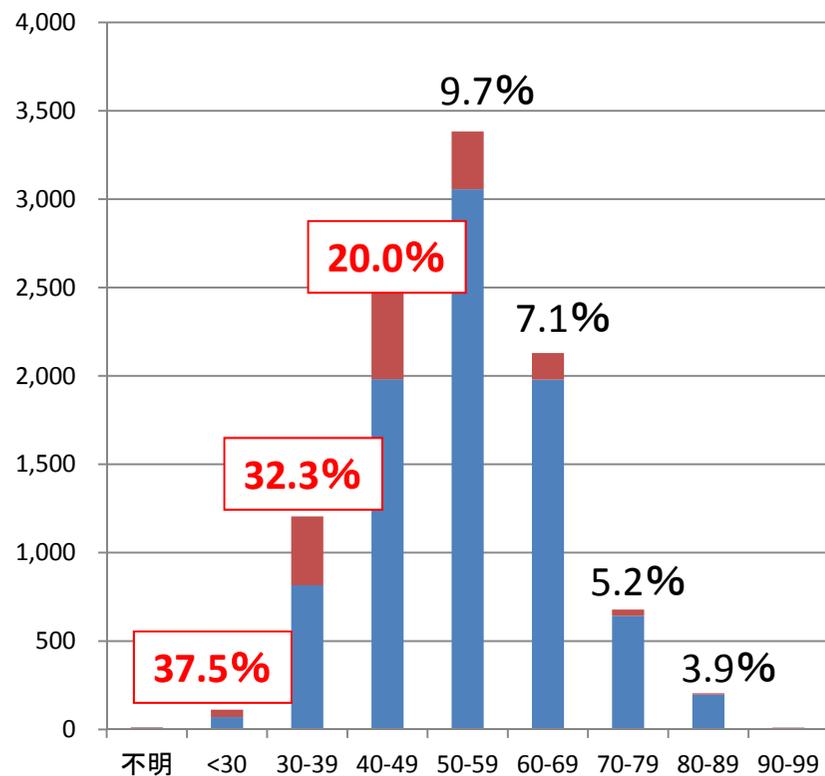
リハ医学会のHPには本冊子のインタビュー、懇親会やセミナー等、RJN(リハビリテーション科女性医師ネットワーク)の活動が随時アップされています。リハ科に興味のある医学生・研修医向け情報もここからどうぞ。

RJNの活動内容はココ！

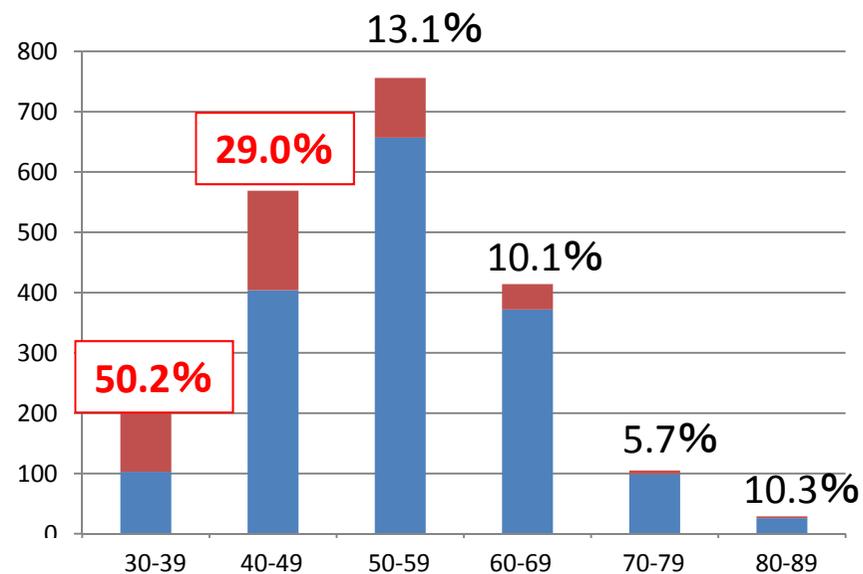
医学生・研修医向け情報！

(浅見豊子先生提供資料)

日本リハビリテーション医学会における女性医師の活動と支援



医師会員に占める割合



専門医に占める割合

女性が学会を支える

日本リハビリテーション医学会設立50周年キャッチフレーズ

生きる時を、生かす力。

リハビリテーション医学。

(小口和代先生作)

